

学生の輝かしい未来のために

大東文化大学学長 高 橋 進

青桐会会員の皆さまにおかれましては、日頃より本学の教育・運営に対し、格別のご高配とご協力、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本学の学生は、大学生活のさまざまな局面において大いに努力を重ね、自身の成長を遂げています。その成果として、学修面の向上にとどまらず、スポーツ・文化・芸術の各分野においても多くの成果を収めています。

決して華美に走ることなく、地道に努力を積み重ねる本学学生の姿勢は、これまでご家庭で培われてきた教育の賜物であると痛感しています。

さて、大学生を取り巻く学修環境は大きく変化しています。生成AIをはじめとするデジタル技術の急速な進展により、学びの在り方や社会の仕組みそのものも大きく変わりつつあります。そのため、単に知識を身につけるだけでなく、自ら問いを立て、価値を生み出す力を育むことが、これまで以上に重要となっているのです。

こうした時代だからこそ、本学の教育の方向性である「文化と文化の融合から新しい文化を創造していくこと」の重要性は、改めて高まっていると言えるでしょう。大きく変化する時代にあっても、多様性をしっかりと受け止め、次の時代の基盤を築いていくことは、学生にとっても、私たち教職員にとっても、大きな挑戦です。

一方で、少子化は加速度的に進行しており、日本の大学を取り巻く環境にも大きな影響を及ぼし、多くの課題を生じさせていることはご周知のとおりです。18歳人口の減少に伴い、大学進学者数の減少が見込まれる中、高等教育全体の規模の適正化や再編・統合の必要性が指摘されるなど、大学経営を取り巻く状況は一層厳しさを増しています。

そのような厳しい環境下にあっても、本学は過去3年間にわたり入学試験において志願者数の大幅な増加を実現してまいりました。これは、本学学生が何事にも真摯に取り組む姿勢を基盤として、着実に教育成果を積み重ねてきた結果であると考えています。

特に就職状況においてもその成果は顕著であり、民間企業に加え、教職を含む公務員への就職者数も着実に増加しています。こうした卒業生の社会的評価の高まり、すなわち「出口」における成果が、本学の魅力をさらに高め、入試における好結果につながっているものと確信しています。

これからも、学生が輝くことのできる大学を目指し、私たち教職員は、学生の良き伴走者であり理解者であり続けたいと切に願っています。そして、青桐会の皆さまとのさらなる連携と絆を深めてまいりたく存じます。何卒、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。